

## 「不動産のための計量分析」最終課題について

最終演習課題（期末試験相当）は、ガイダンスで説明したように（下記）、90 分かけて取り組み、その場で提出してもらいます。

### 0-5 成績評価の方法

以下の2つを合わせて評価する。

講義回数の4/5（=12回）以上の出席をしないものは、最終課題の提出を認めない。なお、最終課題は、講義最終回に90分で実施し、講義で学んだ内容の総確認のための演習に取り組み、時間内に提出するものである。

出席点はなく、また、他学生の課題からのコピペは、コピペした学生およびコピペさせた学生の両者の成績を0点とする。

（1）講義中の演習課題の成績（60%）。講義では、毎回、演習課題に取り組む。各回の得点率の平均を評価する。欠席した回は当然ゼロ点としてカウントする。

（2）最終課題（40%）。最終課題は必ず取り組み提出すること。

最終課題は以下の要領で実施します。

日時：7/19（水）2時限

場所：2641 教室

内容：

- （1）データの基礎分析；例えば、平均や最大値、最小値、標準偏差などを理解しているか。
- （2）重回帰分析とその応用；例えば、重回帰分析の結果は読み取れるか。推計した回帰係数の意味を解釈したり、理論値を計算したりできるか。

持ち込み：

- （1）印刷したレジュメのみ認める。それ以外の一切の持ち込みを認めない。持ち込んだ場合はカンニングとし、最終課題を0点とする。
- （2）レジュメへの書き込みは認めるが、その他の資料などのコピーや Excel や word ファイル等の電子ファイルの持ち込み及び使用は一切認めない。最終課題のためのファイル以外を開いている場合はカンニング行為とし、最終課題を0点とする。

7/12 は、最終課題の説明だけでなく、これまでのまとめ・質問日としますので、**これまで学んだ内容をすべて確認・復習し、わからない内容等は当日質問できるように準備して下さい。**